

# 花葉会総会

10月1日（日）午後2時より、平成17年度花葉会総会が東京・芝パークホテルにて開催されました。55名の出席を得て、宮田増美幹事の司会進行で定刻どおり始まりました。

司会の宮田幹事より岩佐吉純相談役、植村猶行相談役のご逝去の報告がなされ、1分間の黙祷を捧げ、両氏のご冥福を祈りました。

次に、安藤敏夫会長より大学の近況報告。「園芸学部の学科の改組がなされます。生物生産学科、緑地環境学科、園芸経済学科の3学科制になって20年たちますが、昔の形に戻し、来年の4月から動き出します。大学院は、理学部・工学部・園芸学部の3学部共同で設立した自然科学研究科を解体します。4月からは、園芸科学研究科となり、園芸学部の上に設置されます。かつては修士課程だけでしたが、来年度からはその上に博士課程が置かれます。

今までは学部が中心で、大学院教員は、学部教員の兼務となっていました。来年度からは逆転し、大学院の博士課程が本務で、修士課程も学部も兼務となります。

大学院の学生の定員が満たされないと取り潰しになり、勿論学部も取り潰しになります。現在99の国立大学がありますが、それを将来的に60に減らすという、国の基本方針です。総合大学の小さな学部（千葉大学では園芸学部と看護学部）は合併の対象とされています。組織が流動的な時代で、厳しい環境に置かれています。我々は静かに、落ち着いて、ゆっくり、じっくりと勉強をしてゆくつもりです」と、締めくくりました。

午前中に開催された幹事会で推

薦を受けた長岡求幹事長が議長に指名され、議事に入りました。議題は次の通りです。

## 平成17年度事業報告

7月23・24日

第22回花葉サマーセミナー

10月16日 総会

花葉会賞の贈呈

17年度の実賞者は落合哲平氏（昭30別了）、青島尚祐氏（昭31園卒）、千藤猛司（昭31別了）、竹下大学（平1園卒）の4氏であった

6月26日～7月3日

第15回海外園芸事情調査

12月10日「花葉」25号発行

花産業必修1000属検定では、C級15名、B級4名、A級1名の合格者があった。

幹事会の開催は、平成17年6月19日、7月24日、8月27日、10月16日、12月3日、平成18年1月28日、2月12日、3月18日の8回。

## 平成17年度会計報告

### 収入の部

前年度繰越金	2,652,188
会報広告料	1,115,000
マゼンテキスト売上	103,000
書籍売り上げ	18,300
卸用カタログ売上	68,000
協力金	779,080
セミナー収入	0
雑収入	95,485
預金利息	14
合計	4,831,067円

### 支出の部

印刷費	121,800
会報関係	1,432,894
通信費	130,910
運送費	8,230
記念品代	126,000
会議費	272,292

事務費	297,563
賃金	377,340
慶弔費	17,625
税金	70,000
セミナーへの補填	155,383
雑費	100,000
合計	3,110,037円
差引残高	1,721,030円

## 2005年サマーセミナー会計報告

平成17年7月23・24日 日本歯科大学富士見ホールにて開催。

参加者数398名（うち幹事、講師、記者、発表者、学生等106名）

### 収入

受講料	
@30,000 × 176名	5,280,000
@27,000 × 21	567,000
@18,000 × 5	90,000
合計	202名 5,937,000円

### 支出

会場費	2,646,469
印刷費	1,009,575
運送費	198,040
講師謝礼	850,000
講師旅費宿泊費	619,000
通信費	21,000
事務費	286,722
会議費	300,000
税金	77,777
広告費	58,800
備品費	0
雑費	25,000
合計	6,092,383円
差引	155,383円

## 平成18年度事業計画案

第23回2006年

花葉サマーセミナー開催

平成18年7月22・23日（土・日）

日本歯科大学富士見ホール

花葉会賞の贈呈	定期利息	6,062
第16回海外園芸事情調査	預金利息	17
「花葉」25号 発行	合 計	27,335,552円
花産業必修1000属検定		(平成18年3月31日 現在)

## 平成18年度予算案

### 収入の部

前年度繰越	1,721,030
会報広告料	1,100,000
テキスト売上	50,000
その他の収入	800,000
預金利息	100
合 計	3,671,130円

### 支出の部

印刷費	150,000
会報関係	1,500,000
通信費	140,000
運送費	20,000
記念品代	50,000
会議費	200,000
事務費	300,000
賃金	400,000
慶弔費	50,000
税金	70,000
雑費	191,130
予備費	600,000
合 計	3,671,130円

### 基金報告

前年度残高	27,291,863
きよ金	37,610

### 会則の一部改正及び役員改選

安藤会長より、会則第六条 副会長を1名から若干名に、第12条 その他 の項として、付則にある「この会の細則～」を格上げする、付則 は過去の記録を記載するとの提案。役員に関しては、助教授となった渡辺均氏を新副会長に、会計監査は花岡喜重氏退任に伴い河野幹司氏に、また、岩佐相談役、植村相談役のご逝去に伴い役員名簿からの削除の提案がなされました。

なお、それぞれの議題は、拍手をもって承認されました。

### 花葉会賞贈呈

総会に引き続いて、花葉会賞の贈呈がありました。鈴木司幹事より切花用キクの育種に多大な功労のあった山手義彦氏（園昭42卒）を紹介。安藤会長より「山手さんは日本の花文化を世界にアピールした文化の使者です。日本人の誇りです。心をこめて、花葉会賞を贈呈します」とお祝いの言葉と共に

に賞状と記念品が授与されました。

### 記念講演

初めに山手義彦氏より「こんな立派な賞をいただき、心から感謝しています。私は、家業を自分のビジネスとして展開しただけです。5年ほど前から、会社での第一線の仕事からは離れましたので、一番最近の状況は遠くなりました。30年間の私の育種と海外へ向けて開発した実績をお話したい」と、挨拶。「世界に羽ばたく日本のキク」と題して、精興園のオランダでの国際展望と市場戦略を講演されました。

### 懇親会

午後5時より田旗裕也幹事の司会進行で、懇親会が始まりました。長岡幹事長の挨拶の後、乾杯の発声を、今回の出席者の中で一番遠方より参加くださった小田善一郎氏が行いました。途中、岩佐吉純相談役の奥様でもあり、当会会員の岩佐昌子さんより、ご挨拶がありました。終始和やかな雰囲気で行いました。

閉会の挨拶は新副会長の渡辺均氏が行いました。

(文責：編集部)

